

ロボットを活用した運送事業者向け新サービスで協業開始

東京海上日動リスクコンサルティング株式会社（代表取締役社長 嶋倉 泰造、以下「TRC」）と株式会社ナブアシスト（代表取締役社長 望月 明夫、以下「ナブアシスト」）は、運送事業者の働き方改革を支援するため、ロボットを活用した革新的なソリューションの開発および事業化に共同で取り組み、新たなサービスの提供に向けて両社で協業を開始することについて合意しましたのでお知らせいたします。

1. 背景・目的

トラック事業者やバス事業者など自動車運送事業者にとっては、従前より安全最優先の経営が求められているところですが、これまで度々発生してきた重大事故によって、安全運行の徹底に対する社会的要請は一層強くなってきております。

一方で、少子高齢化による労働人口の減少といった構造的な要因や、ネット通販の急速な拡大などの環境変化を背景として、多くの運送事業者が安全運行管理上のさまざまな問題に直面しており、現場における働き方改革の推進が急務とされています。

とりわけ、ドライバー不足の深刻化や高齢ドライバーの増加が進行する中で、過労や睡眠不足による居眠り運転、さらには生活習慣や過労を要因とする健康起因事故を防止するため、運転者に対する指導・監督や乗務前後の点呼などの安全管理業務は、従来にも増して強化・徹底が求められております。

しかしながら、これらの安全管理業務の担い手である運行管理者の負担も非常に大きなものとなっており、運行管理者の働き方を改革しなければ、安全管理業務の強化・徹底を図ることは困難であると考えております。

このような現状を踏まえ、TRCとナブアシストは、運行管理者の働き方改革を支援し、運送事業者の安全管理体制の充実・強化に貢献するため、ロボットを活用した革新的なソリューションの開発および事業化に共同で取り組み、新たなサービスの提供に向けて両社で協業を開始することといたしました。

2. 協業の概要

TRCとナブアシストは、協業における当面の取り組みとして、ナブアシストのロボット点呼TM（点呼支援ロボット＝特許出願中）に、TRCが長年培ってきた安全指導・教育のノウハウを融合することにより、運送事業者における安全管理業務を強力にサポートする新たなサービスの提供をめざします。

この新サービスでは、運行管理者にとって負担が大きく、法令順守上の不備も生じやすい「ドライバーの指導・監督」および「乗務前後の点呼」といった業務を中心に、ロボットによる補助機能を最大限活用することで、運行管理者の大幅な業務効率化・生産性向上を支援いたします。

こうした革新的なソリューションを事業化することにより、広く運送事業者の皆さまに対して、法令順守の面でのサポートに加え、より精度が高く実効性のある安全管理業務を実施できるよう、新たな価値の提供を実現してまいります。

また、事業の推進にあたっては、両社が持つ顧客基盤やネットワークを最大限に活用しながら、新サービスの認知・普及をめざします。

3. 本ニュースリリースについてのお問い合わせ先

東京海上日動リスクコンサルティング株式会社 自動車リスク本部

TEL：03-5288-6586（担当：本多）

以 上